



たぢばな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟
〒420-0068
静岡市葵区田町1丁目70-1
(静岡県青少年会館内)



令和6年度静岡県連盟定時総会 5月18日(土)「あざれあ」大ホールにて



静岡第26団ホビーショーファンファーレ



秋田全国大会 池谷仁美さん表彰



黒船祭に参加しました

CONTENTS

2024年度 静岡県連盟定時総会	2	金谷第1団 SBS青木先輩がやってきた	10
2024年度 日本連盟・県連盟 表彰者名簿	4	静岡第26団 ホビーショーファンファーレ	10
令和6年度ボーイスカウト日本連盟 全国大会開催	5	ビーバーだより	11
能登半島地震被災地支援ボランティアに参加して	6	カブつうしん	12
サイクリング100km移動キャンププロジェクト	7	ボーイ通信・指導者だより	13
ボーイスカウト掛川第2団 発団60周年	8	「友情章」おめでとう31名の仲間	14
伊豆地区 黒船祭	9	マスコミコーナー	15
浜松地区 自然体験フェスタ	9	お知らせコーナー	16

2024年度 静岡県連盟定時総会

■日時/令和6年5月18日(土) ■会場/静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大ホール



皆様こんにちは。令和6年度県連盟年次総会が無事に開催できましたこと、感謝申し上げます。

昨年は、韓国セマングムで第25回世界スカウトジャンボリーが開催されました。参加したスカウトの成長はこれからの人生の糧になることでしょう。

もう一つは、中華民国台中市童軍會との国際交流が行われました。本年は、台中市のスカウトが3TCに参加します。事前には県内スカウト家庭でのホームステイを通じて、国際交流を深めることになりました。

さて、本年の静岡県連盟は3つの取り組みを進めます。一つ目は、加盟員減少克服への取り組みです。昨年「ビーバースカウト隊をすべての団に置こう」との重点目標に一丸となって取り組み、新規加盟率が前年比105%を達成しました。一方、中途退団が増え、結果的には、前年比加盟登録数は減少となりました。加盟員減少克服に向かう取り組みを示していきたいと思えます。

二つ目は、県連事務局の移転です。県青少年会館が使用できなくなるため、現状の負担額を基準に、財政を圧迫しない費用で静岡市内の拠点を探していきます。今後の状況につきましては、随時、ご報告申し上げます。

三つ目は、財政改革への取り組みです。現在、貯蓄財源を取り崩し運営しているため、健全財政を目指し、収入増、支出減への取り組みを進めます。

支出減については、有給の事務局長から無給の非常勤事務局長に交代します。そのため、皆様の事務的負担が増えるかと思いますが、ご協力をお願いします。もう一つは、県連盟組織の見直しを進めていきます。

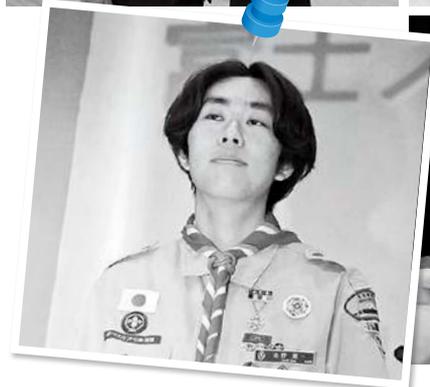
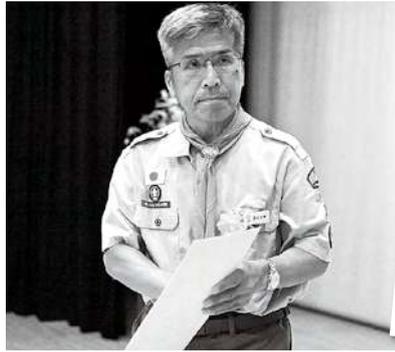
収入増については、企業・団体からの支援を新たに開始するとともに、日本連盟維持会員、静岡県連盟賛助



会員増に力を入れていきます。収入増への取り組みについては、格別のご支援とご協力賜りますよう、よろしく申し上げます。

むすびに一人一人と共に歩む静岡県連盟として、次代への懸け橋となることをお願い申し上げ、挨拶といたします。

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
理事長 小林 透



2024年度 日本連盟・県連盟 表彰者名簿

■日時／令和6年5月18日(土)
■会場／静岡県男女共同参画センター
「あざれあ」

◆日本連盟 スカウティング褒章

地区	氏名	表彰理由	所属団
静岡	池谷仁美	全国ARDF19歳以下女子優勝他	静岡第27団 ベンチャー隊

◆日本連盟 功労章 たか章

地区	氏名	役務(令和5年度)	所属団
沼津	佐藤清子	県連名誉会議議員	沼津第1団
静岡	北村 誠	県連名誉会議議員	静岡第10団

◆日本連盟 功労章 かつこう章

地区	氏名	役務(令和5年度)	所属団
伊豆	久原宗仁	県副コミッショナー	大仁第1団
富士	伊藤正廣	地区事務長	富士第4団
志太	鈴木利昌	地区コミッショナー	焼津第2団
島田	熊谷実千雄	県連盟理事(地区委員長)	島田第2団

◆県連盟 スカウティング褒章

地区	氏名	表彰理由	所属団
富士	加茂元大朗	全国躰道選手権大会団体の部優勝	富士第10団 ベンチャー隊

◆県連盟 感謝状

地区	氏名	役務(令和5年度)	所属団
伊豆	木村利春	元伊豆地区コミッショナー	三島第5団
伊豆	山本知佐子	日本連盟副リーダートレーナー	函南第1団
富士	山本真一	元富士地区コミッショナー	富士第8団
浜松	堀内正治	元浜松地区コミッショナー	浜松第1団
浜松東	鈴木文志	元浜松東地区コミッショナー	浜松第22団

◆県連盟 特別有功章

地区	氏名	役務(令和5年度)	所属団
伊豆	大坂 平	ビーバー隊副長	伊東第5団
御殿場・小山	小林陽子	ベンチャー隊長	御殿場第2団
御殿場・小山	松本聖一郎	カブ隊長	御殿場第2団
富士	渡辺吉章	団委員	富士第10団
島田	望月雄二	ベンチャー隊長	金谷第1団
磐田	三谷美穂子	ビーバー隊長	豊田第1団
浜松東	高井勝弘	団委員	浜松第15団

◆県連盟 有功章

地区	氏名	役務(令和5年度)	所属団
伊豆	小島みちよ	カブ隊副長	三島第5団
伊豆	久保田郁子	ビーバー隊副長	函南第1団
伊豆	荻野秀行	団委員	函南第1団
伊豆	鈴木啓之	ベンチャー隊長	伊東第5団
富士	高山佳子	団委員	富士第4団
富士	梅屋直史	ボーイ隊長	富士第4団
清水	藤田めぐみ	ボーイ隊長	清水第19団
清水	櫻井友加里	カブ隊長	興津第1団
志太	大畑 晃	カブ隊長	藤枝第2団
志太	八木貴志	ビーバー隊長	藤枝第7団
志太	待井利輝	ボーイ隊長	藤枝第7団
志太	藤永典子	団委員	焼津第2団
磐田	佐々木信仁	団委員	磐田第3団
浜松東	中山浩志	カブ隊長	浜松第6団
浜松東	山口規予美	ベンチャー隊長	浜松第24団

◆友情章 顕彰

地区	区分	氏名	隊(令和5年度)	所属団
静岡	緑	小長谷京	カブ隊	静岡第27団
島田	緑	二ノ宮結翔	カブ隊	金谷第1団
島田	緑	榎田 湊	カブ隊	吉田第2団
浜松東	青	長谷川律樹	ビーバー隊	浜松第6団
伊豆	青	斎藤鈴奈	カブ隊	三島第5団
沼津	青	松井俐人	カブ隊	長泉第2団

(緑:3名紹介、青:4名紹介)

《日本連盟 組織拡充目標達成加盟団》

◎Aランク／スカウト数65名以上かつ指導者25名以上の
合計90名以上3年間継続団

三島第3団 三島第5団 大仁第1団 浜松第12団



令和6年度ボーイスカウト日本連盟 全国大会開催



ボーイスカウト日本連盟の「全国大会」が5月25日(土)・26日(日)に秋田市あきた芸術劇場ミルハスにて開催されました。静岡県からもたくさんの表彰者が全国の仲間が見守るなか受章しました。

大会に合わせて市内では体験まつりやポイントラリーなどが行われ、地元の子どもたちが参加したり企業ブースも加わって大変な賑わいでした。県連総会でも紹介された静岡第27団ベンチャースカウト(現在ローバースカウト)の池谷仁美さんが表彰者名簿のトップを飾っておりました。

錚々たる関係者の前で堂々と登壇し、表彰状をいただいた際には水野理事長にいつも通りの微笑みを返すというツワモノ。将来が楽しみです!

(静岡第27団 facebook より)



県コミッショナー 澤田 浩久

今年は、これまでの全国スカウト教育会議(テーマ別集会)とは異なり、日本連盟からの情報提供ではなく『語ろう、スカウティング』として、「地域の中のスカウティング」「スカウティングと多様性」「スカウト・青年の参画」「変わりゆくローバー、高め合うローバー」の4つのテーマについて、各会場でグループに分かれて活発な意見交換が行われました。

県副コミッショナー 荒井 健

「スカウティングと多様性」では、ダイバーシティとインクルージョンについて説明があってから、グループごとに話し合いを行いました。特別な支援を必要としているスカウトに対してどの様に支援を行うべきか、アグナリーとジャンボリーは一緒に開催すべきかどうか、中折れ帽の取り扱いなど多様性に関する様々なことについて意見交換を行いました。



「スカウト・青年の参画」

県副コミッショナー 久原 宗仁

青年の参画と言われると、『ローバースカウトが理事会等の意思決定に加わる』とイメージしがちですが、それだけではなく。例えばビーバー隊でおやつを配るとき、スカウトの意見を採用してますか?そんな議論を試してみました。自分の意見が形になることの喜びを積み重ねていくことが大切なことと認識しました。



RCJ静岡県代表 畠山 佑紀

今回、RCJ静岡県代表として全国大会およびRCJ総会に参加させていただきました。参加して特に印象に残ったのは、ローバー年代の活気と真剣さです。スカウトの活動に対する熱量は非常に高く、そのエネルギーに圧倒されました。数年前から日本連盟を中心にローバー年代の活動が一層活発化しており、今年の夏には19年ぶりとなる日本ローバームートが開催されます。この流れに乗り県内の活動も一層盛り上げていけるよう、県代表の任期中全力で取り組んでいきます。

◀ 来年の全国大会は福岡。みなさん福岡でお会いしましょう! ▶

能登半島地震被災地支援 ボランティアに参加して



静岡第10団 団委員
福村 隆



日本連盟復興支援本部 (珠洲市立直公民館)

信じられない光景でした。能登半島の先端珠洲市に行く途中、半島の中程七尾市辺りから崩落した道路が目立つようになり、珠洲市に着く頃には倒壊した建物があちこちに見られるようになりました。今年の1月1日能登半島地震が起き、現在判明しているだけで死者245人、全半壊住宅約3万棟という甚大な被害

が発生しました。中でも輪島市・珠洲市での被害が大きく、死者の85%が両市に集中しました。私は今回4月27日～28日の2日間、日本連盟主催の「能登半島地震災害地支援ボランティア」に参加しました。珠洲市は過去にアグーナリーやジャンボリーを開催するなど、スカウトに馴染み深い地です。ボランティアには、地元石川県連をはじめ、神奈川県連、愛知県連など周辺各都県連から有志が駆けつけており、静岡県連からは磐田第3団小松団委員と私の2名が参加しました。主な業務は、被災された方々から依頼があった住宅の片付け作業です。地震・津波で被害を受けた住宅内部の片付け



港から打ち上げられ横倒しとなった船舶



4ヶ月経っても手付かずの家屋

や、全半壊した住宅から出た柱・瓦礫の搬出など、人手が頼りの作業です。1日目は珠洲市の中心部、海岸近くのお宅でした。周りの住宅は1階部分が潰れ2階が1階のようになっていましたが、そのお宅はどうか2階まで持ち堪えていました。中に入ると1階は完全に津波に洗われており、家財は散乱し砂にまみれ、冷蔵庫の中には4カ月前の津波の海水がそのまま残っている有様でした。そのような中、

家族の方と必要なものを一つ一つ確認し、不要なものを廃棄し、床も全て綺麗に清掃しました。特に写真は思い出深い品であり、見つける度に丁寧に砂を払い、家族の方にお渡ししました。2日目は全壊したお宅でした。既に屋根や壁はなく仏壇だけがボツンと残っている状態でした。散乱する瓦礫を柱・瓦・家具などに分別し、集積所に運ぶ業務でした。太くて重い柱を人力で何本もトラックに積み込み、集積所まで何往復もしました。

生活の場、仕事の間、団樂の場を失った辛さは想像に堪えません。4ヶ月経っても片付かない住宅・瓦礫を見るのは本当に心が痛みます。しかし、僅かな力ですが、ボランティア活動で被災者の方々の笑顔に出会うことができました。両日とも、ご家族にはとても喜んでいただきました。復旧作業には多くの時間・労力が必要です。今後もまだまだ多くの支援活動が必要だと感じました。



災害ボランティア活動
(家屋の片付け、廃棄物の搬出)

サイクリング100km移動 キャンププロジェクト

静岡第14回
ベンチャー隊!!



静岡第14回 ベンチャー隊隊長 寺田 万友

5月GW、ベンチャー隊はサイクリング100kmを含む移動キャンププロジェクトを実施しました。JRで舞阪駅まで移動した後、自転車で浜名湖を時計回りに進み、弁天島から浜松の太平洋自転車道を経てJR御厨駅までサイクリングして、再びJRで静岡に戻る計画です。野営地は三ヶ日と竜洋に設定しました。

移動キャンプのテーマは地産地消の野外調理です。サイクリングの途中、地元のスーパーに立ち寄り、県産のアジなど食材を入手して調理しました。浜名湖のアサリは2024年も不漁が続き、潮干狩りは6年連続で中止とのこと。残念ながらスーパーでアサリを見かけることはなく、文字通り「自然の恵み」について考えさせられました。



静岡第14回 ベンチャー隊 小森 珠未

この100kmサイクリングは私にとって2回目のプロジェクトでした。地産地消を主なテーマとし、浜名湖周辺から竜洋にかけて2泊3日の移動キャンプを実施しました。計画の段階で特に苦労したのは献立です。事前調査でスーパーを調べてみて、自分がいかに産地や値段に着目したことがなかったか思い知らされました。そういった点では、このテーマでこそ得られた新たな視点があったと思います。

このプロジェクトはベンチャースカウトになって初めての本格的なチームプロジェクトだったので、チーム内でのトラブルが心配でしたが、お互いに思ったことははっきり言うことを意識することで大きなトラブルなくプロジェクトを終えることができました。今回のプロジェクトで自分の意見を以前よりはっきり言えるようになったと思うので、それをこれからの活動にも活かしていきたいです。



発団60周年に当たって

掛川第2団 団委員長 浅井 淳孝



三指

掛川第2団は、2024年(令和6年)発団60周年を迎えます。関係する皆様のご支援をいただき、人間でいえば還暦、干支が一巡して第2の人生になる年月を迎えることができました。この60年の間、掛川市内には掛川第1団から第4団が誕生しましたが、様々な背景からその灯が徐々に消えてしまい、現在は第2団のみが活動しています。そんな我々掛川第2団はジャンボリーやキャンボリーなどの大きな大会への参加、海岸清掃や募金活動などの奉仕活動、スカウト達だけの小さくも楽しい世界を味わう班集会やプロジェクト活動など、規模も分野も様々な多岐にわたる活動をしてきました。過去には富士スカウトが首相のもとへ表敬訪問したり、世界ジャンボリーで米国の地でキャンプを楽しんだスカウトもいました。

現在の掛川第2団は、発団時からの歴史を知る前団委員長が数年前に勇退されたため、この20年以内に加わったメンバーばかりで、まさに第2ラウンドに入った状態です。第2ラウンドを引き継いだ我々は、60年間の多くのスカウト達の思い出を礎に、改めて「愚直と変化」をテーマに掲げ、スカウト教育法の基本に忠実に、そして時代の波に乗るよう変化を積極的に取り入れることを心がけています。

現状の加盟登録数は団委員8名、指導者16名、スカウト58名(ビーバー20名、カブ19名、ボーイ11名、ベンチャー5名、ローバー3名)合計82名の体勢です。団委員の獲得、各隊の上進率を上げることなどまだまだ課題は多いですが日々の活動を通して邁進していきたいと思えます。

次の還暦を迎えられるよう、スカウト、指導者、育成会員が一体となり、和気あいあいとした雰囲気を大切に活動を続けていきたいと思えます。

今後とも関係する皆様のご指導をよろしくお願ひいたします。

弥栄



黒船祭に参加して

伊豆地区 伊東第2団 坂本敏明

5月18日に下田市の黒船祭に伊豆地区の仲間と共に参加しました。パレードには、米海軍や自衛隊の音楽隊をはじめ県内外から合わせて35団体が参加しました。我々はビーバーからローパーまでのスカウト及び指導者など83名で臨みました。これは参加団体最大規模を誇り、下田市に団が無い状況でパレード中観衆からは驚きの声が上がっておりました。

米海軍音楽隊を先頭にスタート、我々はベンチャーによる日米両国の国旗を先頭に、連盟旗と地区旗、ボーイによる参加隊の隊旗でフラッグ隊を編成し、その後にカブ、ビーバーが両国の小旗を持って続けました。

観衆の方の励ましや拍手は、1時間歩き続けたスカウトのエネルギーとなったようです。無事ゴールした時のスカウトたちの笑顔からは、大きな仕事を成し遂げた達成感を感じました。

彼らの顔を見ていたら来年もまた参加しようという気持ちが湧いてきました。私はこの顔を見たくて指導者を続けているのかもしれない。



浜松地区

地域の中のスカウティング

浜松地区 地区委員長 堀内 正治

浜松地区は5月19日に浜松市立青少年の家主催の「自然体験フェスタ」に協力し参加してきました。スカウト活動と社会が密接に連携をとれていれば、スカウト教育全体の価値観の理解が深められ、社会の多様性を理解し、自分が持つ能力を発揮する機会になります。スカウト運動の地域との交流の場でもあり、スカウトにとっては社会貢献の場にもなっています。雨天の為、予定していたスラックラインを使った遊びはできませんでしたが、雨プログラムのロープ遊びに、園児、少年少女たちが思いっきり楽しんで、笑顔がたくさん見せてくれました。何度も何度も遊びに来てくれる子どもたち、そして保護者の笑顔も溢れる一日となりました。そして保護者にはボーイスカウトをしっかりアピール、各団の体験会のちらしもお持ち帰りいただきました。



金谷第1団 SBS青木先輩が やってきた!

金谷第1団 副団委員長 望月 雄二



金谷第1団は春の日差しの中で入団&上進式を行いました。しかも今年は素敵なゲストが来てスカウト達を激励してくれました。その方とは、SBS静岡放送局の青木隆太アナウンサー。たまたまラジオで青木さん自身がボーイスカウトをやっていた(大阪連盟で)、という話を聞いた団委員長がSBSに依頼したところ、快く来てくださいました。青木さんからは、「ボーイスカウトで経験することは他では絶対に経験できないことばかり。そして、大人になったときに必ず役に立ちます。」と、さすがのアナウンサーの良い声でスカウトに語り掛けてくださいました。また、この日のことを数日後に自身のラジオ番組でも話していただきボーイスカウトの魅力を伝えてくれていました。スカウト達にとって「テレビで見る人が同じボーイスカウトの先輩」と感じてくれ、スカウト活動に誇りを持って取り組んでくれるようになるといいな、と感じました。青木アナウンサーには金谷1団だけでなく静岡県全体のボーイスカウトの力になって頂けたらと願います。

と、感じました。青木アナウンサーには金谷1団だけでなく静岡県全体のボーイスカウトの力になって頂けたらと願います。



第62回 静岡第26団 静岡ホビーショーの演奏を終えての感想

静岡第26団 ボーイ隊
依田 有希彦

5月11日と12日に静岡ツインメッセで開催されたホビーショーにて、僕たちは今年も演奏を行いました。演奏時間は両日も約15分間で、会場の来場者が受付をする場所の近くで行いました。普段はスネアドラム(小太鼓)を主に練習していますが、今回の演奏では参加スカウトの都合により、急遽バスドラムを担当することになりました。団委員長からそのことを告げられた時は、とても驚きました。普段あまり練習していない楽器を演奏することになり、さらにはとても重いバスドラムを長時間持って演奏をすることができるか不安でいっぱいでした。

実際に演奏が始まると、いつものスネアドラムと比べてバスドラムのスティックの振り方が全く異なることに気がきました。バスドラムは重たく、持って演奏するのが非常に大変でした。また、バスドラムは曲のテンポを合わせるために重要な役割を果たすため、指揮者を見る頻度が増えました。指揮者の指示に従いながら、リズムをしっかりとキープすることに集中しました。

演奏が無事に終わった後、いつも以上に緊張していたため、とても疲れましたが、達成感もありました。その後、タミヤの会長さんと一緒に写真を撮らせていただき、お茶をいただきました。会長さんから「ちゃんと演奏が出来たの」と聞かれた時、普段はバスドラムを演奏しないので不安でしたが、無事にやり遂げられたことに対して誇らしい気持ちになりました。

今回の経験を通じて、バスドラムの難しさと面白さを実感しました。普段とは違う役割を担うことで、自分の新たな一面を発見することができました。この経験を活かして、今後の演奏にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。





いつも元気だっ!
ビーバーだより

みどりのぼ金

御殿場・小山地区 小山第4回 ビーバー隊 湯山 心咲

小山のみちのえきで、みどりのぼ金をしました。「みどりのぼ金、ごきょうりよくおねがいます!」とみんなで声をかけました。ぼ金してくれた人に「ありがとうございました!はねをどうぞ。」と言ってはねをわたしました。みんながぼ金をしてくれてうれしかったです。林や森がきれいになったらいいなおもいました。おわたあとに、みんなでソフトクリームをたべました。わたしは、コーンにしました。みんなとがんばったので、ソフトクリームがいつもよりおいしかったです。



だいすきなスカウトハウス

御殿場・小山地区 小山第4回 ビーバー隊 宇根山己羽音

わたしは、小山第4だんのビーバースカウトに入っています。4月のみどりのぼ金かつどうのあと、スカウトハウスで、だんのみんなでバーベキューをしました。スカウトハウスはまる太できていて、みどりのにわがあります。わたしは、ともだちといっしょに、そのにわでカナヘビをつかまえたり、しろつめくさをあんだりしました。ほかにも、たいのかつどうのとき、スカウトハウスの中でこうさくをしたり、えをかいたりします。わたしは、そんなスカウトハウスが大好きです。



紙コップをつかって弓矢を作ったよ

伊豆地区 三島第14回 ビーバー隊 さわや みく

この前の集会では紙コップで弓矢をつくりました。私は工作が好きなので、隊長が見本を見せてくれたとき、どうやって作るのかなあとワクワクしました。

まず紙コップに小さい穴をあけて、つぎに絵をかきました。私は自分のかおをかきました。丸い紙コップにかくのはむずかしかったので、まちがえないように気をつけてかきました。次にシールをはって、かわいいなあと思いました。さいごに輪ゴムをつけてストローで矢を作って完成です。

カブ隊のお兄ちゃんたちが的を作ってくれたので、的当て大会をしました。矢をとばすのはたのしかったけど、やりすぎてストローがボキボキになりました。家にかえてもお兄ちゃんや弟とたくさんあそびました。

あそびすぎて、弓矢がボロボロになったのでまた自分で作りたいです。とっても楽しかったです。



お茶つみたいけん

沼津地区 沼津第19回 ビーバー隊 中山こうすけ

はじめてお茶つみをしました。さいしょはしんめをみつけるのがむずかしかった。

だんだんみつけることができるようになったよ。おいしいお茶になるといいなと思いました。



ビーバースカウトのいいところ

浜松地区 浜松第12回 ビーバー隊 たかすぎ ひゅうが

ビーバースカウトのいいところは、しぜんの中でかつどうできることです。ぼくは、しぜんの中でかつどうすることがとてもいいことだと思います。いろいろなばしょで学校では学べないこと



ができるからです。ちょっと前にやったたいしゅうかいでは、うんどうかいをみんなでやりました。そのときやったきょうぎでは、おかあさんといっしょに玉入れをしました。学校いがいであまりすることがないことができてとてもたのしいです。ビーバースカウトをがんばってつづけていきたいです。

楽しいビーバースカウトかつどう

浜松地区 浜松第12回 ビーバー隊 にしはら たまき

お父さんが子どものころにスカウトだったので、わたしもビーバースカウトに入ることになりました。はじめははずかしくてしんばいでしたが、ビーバーのお友だちがいっぱいいるから、今は ビーバーの日が楽しみです。このあいだは、お茶つみたいけんをしました。雨がふっていて、「いっしんによう」(一芯二葉)を見つけるのがたいへんでした。



でも、お茶つみのあと、お茶の天ぶらをたべたり、いいかおりのお茶をのんだりしました。とってもおいしかったです。



ビッグビーバーになったので、小さい子たちのお手本になれるようにがんばりたいです。



楽しかったカブ隊スキー訓練

磐田地区 磐田第3回 カブ隊 北澤 美玲

2月3日に、カブスカウトで長野県までスキー訓練に行きました。スキーには家族で行ったこともあったけども、その時は、お兄ちゃんとどちらが早く滑れるか競争したり、負けないように練習をしたりと、自分のスキーが上手になることが楽しかったです。スカウトの仲間と行った時は、自分が教えてあげてを年下のスカウトに教えてあげたり、一緒に滑った仲間同士で転んだときなど、助け合ったりすることが楽しくて、家族で行ったときの楽しさとは少し違いました。どちらも楽しかったけれど、訓練で感じた楽しさは、仲間がいたから感じた楽しさなので、またみんなで行きたいと思いました。



いちばんの思い出

沼津地区 沼津第1回 カブ隊 永田 凧

ビーバー・カブフェスティバルは、僕にとって一番の思い出です。

クモの網になったロープを鈴が鳴らないようにもぐったり、乗り越えたりするのは本当に難しかったけれど、とても楽しかったです。

また、ロープでできたつり橋のようなモンキーブリッジもありました。少し高くてゆれたりするけれど、それもまた楽しかったです。

カブスカウトでは自然とふれ合うこともできるし、物を作ることもできます。僕はそれがとても楽しいです。



最後に、僕は隊長や他のスカウトと一緒に活動できることが、とてもうれしいです。

これからいろいろな経験をしながら楽しく活動していきたいです。

【追記】(隊長)

3月春探しのハイキング、つくしの群れを見つけ、凧くんは「つくしのパラダイス」と明言を放ちました。「パラダイス」と表現した凧くんの感性は素敵だと思った集会でした。

能登半島救援で「牛乳パック募金」をしました

浜松東地区 浜松第6回 カブ隊 矢野 陽規

ぼくが牛乳パック募金に参加したのは、ベンチャースカウトのお兄さんが呼び掛けていると母から聞いて、自然の中で遊んだりスポーツを楽しむ以外に、スカウトを通して社会の役に立つ活動ができると知ったからです。

連日のニュースで能登半島地震の状況を見て心が痛みました。困ったときはお互い様。ぼくのおこづかいの中から入れた額は少ないですが、みんなの想いが集まって被災地の復興を支援できることは素敵だと思いました。

空の牛乳パックに、ぼくと弟の写真を貼りました。それを、父のお店の店頭にも置いてもらいました。浜松市内を回るコーヒー専門のキッチンカーです。たくさんの人の募金が集まって、みんなの想いも集まり、手にした募金箱は実際より重たく感じました。



デンコーチで参加

清水地区 興津第1回 ボーイ隊 木下 大晴

今年、3月30～31日に月の輪キャンプにデンコーチとして参加しました。僕も2年前に月の輪キャンプに出てボーイ隊に上進しました。

当日午後より開会式を行い月の輪キャンプが始まり、自分がカブスカウトを引っ張っていけるか不安に思っていました。けれども、不安に思うことなくみんなで助け合いしっかり引っ張っていくことが出来ました。

まず、テント設営で時間がかかると思っていたテントとフ

ライが思ったより簡単に設営出来ました。その理由はカブスカウトの子がしっかりしていてお願いした事をちゃんとやってくれたからです。

その後、夜ごはん作りはカレーとサラダです。作っている途中、ハエが入ってしまうハプニングもありましたが、加熱調理しておいしく食べることが出来ました。いろんなことがあっても、みんなで食べると本当においしいです。



あっても、みんなで食べると本当においしいです。

次の日の朝にスカウトカウンセラーで話しました。人前で話すことがあまりなかったのでもちよりました。

そして、朝ごはんを作りました。ホットサンドとコーンスープとデザートにヨーグルトを食べました。作りやすくておいしかったです。

そして、ロープのむすび方を教えることになり、本結び、ひとえつぎ、ふた結び、もやい結び、8の字結びの5つのむすび方を教えました。カブスカウトの子がすぐにできるようになってびっくりしました。

カブスカウトの子を教えていると自分がまだまだ未熟だなと思うことが多いため、まだまだしょうじんしていこうと思いました。



ベンチャー隊入隊式

富士宮地区 富士宮第25回 ベンチャー隊 副長 生沼 輝子

希望とアドベンチャーバッジを胸に、ベンチャースカウトの入隊式が4月27日若之宮浅間神社で行われました。25団のネッカチーフを隊長より授与していただき、仲間が増えた喜びを感謝しベンチャー隊一同で大歓迎しました。

これからも、今までのスカウト運動での様々な経験を生かし新しい目標にチャレンジして、ひと回りもふた回りも大きなスカウトになって欲しいと思います。

そして、B.Pの教えを守りボーイスカウトに所属している事に誇りを持ち、世界に羽ばたいて欲しいと願っています。





各章に向かって、がんばろう!! 受章者を紹介致します!

ボーイスカウトの進歩制度とは、スカウトの成長の目標となる課目を設定し、進級というステップで、スカウトが発達段階に応じて成長できるようにした制度です。ボーイスカウト隊に入隊するとまず初級スカウト章を取得して段階的に進級を進めます。

●1級スカウト章は高度なスカウト技能や、宿泊を伴うプロジェクト運営、地域への貢献や後輩への指導ができます。

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日	地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
志太	焼津第1団	ボーイ隊	藁科 壮一郎	2024年2月11日	志太	焼津第1団	ボーイ隊	坂本 柊哉	2024年3月3日
伊豆	三島第5団	ボーイ隊	佐野 優太	2024年3月2日					

●菊スカウト章は高度なスカウト技能の他、ボーイスカウト隊の中の活動で、ボランティア活動や野外活動での更なるスキルが認められたスカウトです。

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日	地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
志太	藤枝第1団	バンチャー隊	古市 芽衣	2024年3月9日	浜松	浜松第12団	バンチャー隊	内山 早翔	2024年3月31日
静岡	静岡第7団	ボーイ隊	中山ひかり	2024年3月9日	浜松東	浜松第30団	バンチャー隊	杉山 由	2024年3月31日
浜松東	浜松第22団	バンチャー隊	若松 泰輝	2024年3月22日	伊豆	大仁第1団	バンチャー隊	矢田 伊吹	2024年3月31日
島田	吉田第2団	バンチャー隊	松浦 翼	2024年3月23日	伊豆	大仁第1団	バンチャー隊	矢田 久尚	2024年3月31日
島田	吉田第2団	バンチャー隊	中畑 星矢	2024年3月23日	伊豆	大仁第1団	バンチャー隊	山崎 一乃	2024年4月13日
富士	富士第2団	ボーイ隊	長瀬 琉加	2024年3月28日	伊豆	三島第5団	ボーイ隊	三戸 柚果	2024年5月18日
富士	富士第2団	ボーイ隊	川島 大佳	2024年3月28日	伊豆	三島第5団	ボーイ隊	酒井 汐梨	2024年5月18日
富士	富士第2団	ボーイ隊	永山 遥	2024年3月28日	伊豆	伊東第2団	バンチャー隊	坂本 渉	2024年6月5日
清水	興津第1団	ボーイ隊	石川 優	2024年4月3日	伊豆	伊東第5団	バンチャー隊	太田 幸佑	2024年6月5日
浜松	浜松第12団	バンチャー隊	梶岡 寛太郎	2024年3月31日	伊豆	伊東第5団	ボーイ隊	稲葉 早羽	2024年6月5日

●隼スカウト章はスカウト技能を十分に役立てることができ、ジュニアリーダーとしての基本的な隊運営の知識を有し、健全な体と精神を身につけたスカウトです。

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日	地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
浜松東	浜松第24団	バンチャー隊	渡部 隼巴	2024年3月9日	浜松東	浜松第22団	バンチャー隊	松野 友城	2024年5月18日
沼駿	清水町第7団	バンチャー隊	松山龍太郎	2024年3月31日	浜松	浜松第12団	バンチャー隊	谷本 真幸	2024年5月18日
沼駿	清水町第7団	バンチャー隊	内田 拓実	2024年3月31日	静岡	静岡第22団	バンチャー隊	鈴木美菜佳	2024年6月2日

●富士スカウト章

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
浜松	浜松第12団	バンチャー隊	西塚 明里	2024年3月9日



おめでとう!!31名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和6年7月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・地域連携委員会

氏名	地区	所	属	氏名	地区	所	属
木村 紗夕	伊豆	三島第5団	ボーイ隊	滝澤 瑛生	静岡	静岡第22団	カブ隊
平下 梨心	富士宮	富士宮第5団	ビーバー隊	平木 亜実	静岡	静岡第22団	カブ隊
塚本 義之	富士宮	富士宮第5団	ビーバー隊	海野 杏奈	静岡	静岡第22団	バンチャー隊
勝呂 鱒太郎	富士宮	富士宮第5団	ビーバー隊	伊藤 咲	島田	島田第2団	ビーバー隊
佐々木 梨帆	富士宮	富士宮第25団	カブ隊	谷 長子	島田	島田第2団	ビーバー隊
垣内 孝太郎	清水	清水第7団	ボーイ隊	鈴木 皓太	島田	島田第2団	ビーバー隊
杉森 琥太郎	清水	清水第7団	ボーイ隊	山本 遼	島田	吉田第2団	カブ隊
平尾 風薫	清水	清水第8団	ボーイ隊	相澤 咲希	島田	吉田第2団	ビーバー隊
入谷 咲希	清水	清水第8団	ボーイ隊	堀江 陽仁	島田	吉田第2団	ビーバー隊
齋藤 桃子	清水	清水第8団	カブ隊	大波 雄英	浜松東	浜松第21団	カブ隊
神谷 陽大	清水	清水第8団	ボーイ隊	蔡 詩嫻	浜松東	浜松第21団	ビーバー隊
渡邊 榛名	静岡	静岡第7団	ビーバー隊	高塚 旭	浜松東	浜松第30団	カブ隊
望月 湊太	静岡	静岡第22団	ビーバー隊	上村 実穂	浜松東	浜松第30団	ボーイ隊
廣田 悠	静岡	静岡第22団	ビーバー隊	恵美 春陽	浜松東	浜松第30団	ボーイ隊
鳥倉 朋子	静岡	静岡第22団	カブ隊	稲野 葵	浜松東	浜松第30団	カブ隊
長倉 新	静岡	静岡第22団	カブ隊				

ボーイスカウト運動にご支援くださった皆様です。令和6年4月～6月

- 【日連維持会員】 小林透 西山考 司森記世 花畑金亨 鈴木均
 藤曲敏春 脇坂英 勝侯田野 戸川正明 佐々木 二人
 島瀧三郎 高崎浩 太郎 澤田谷 小川悦三 宮崎 信
 川村悦郎 高宮崎 浩 近藤由美 藤谷美千 小林透 武博生
 花畑金亨 杉山邦宏 近藤由美 藤谷美千 小林透 武博生
 戸田正明 世界救世教スカウト協議会 熊谷美千 小林透 武博生
 村松武 渡邊聡 八巻知子 川島一郎
- 【県連盟賛助会員】
 世界救世教スカウト協議会 小林透
 世界救世教スカウト協議会 小林透
- 〈以上敬称略〉



マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

各地区・団で、新聞又は雑誌などに掲載された記事がありましたらご応募下さい。詳しくは県連事務局まで

ボーイスカウト年次総会
スカウト3人が今夏ラトビアへ

ボーイスカウト日本連盟は、今年度(令和6年)の年次総会を、7月12日(土)から14日(月)まで、東京都港区の王子王子ホテルで開催した。総会には、全国の各地方協議会代表や、各地方協議会長のほか、関係者約300人が参加した。総会では、今年度の活動報告や、来年度の活動方針が決定された。また、今年度の活動報告として、今年度の活動実績が発表された。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。総会では、来年度の活動方針として、国際交流の推進や、地域での活動の充実などが掲げられた。また、今年度の活動報告として、今年度の活動実績が発表された。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。総会では、来年度の活動方針として、国際交流の推進や、地域での活動の充実などが掲げられた。

令和6年4月24日(水) 富士ニュース 掲載

県内スカウト5人
全国最上位を報告

ボーイスカウト日本連盟は、今年度(令和6年)の全国大会の結果を発表した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。全国大会の結果として、県内スカウト5人が最上位を報告した。これは、過去最高の成績であり、県民の誇りである。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。全国大会の結果として、県内スカウト5人が最上位を報告した。これは、過去最高の成績であり、県民の誇りである。

令和6年4月10日(水) 静岡新聞 掲載

ボーイスカウト連盟 富士章の西塚さん(勤みに)

ボーイスカウト日本連盟は、今年度(令和6年)の活動実績を発表した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。活動実績として、今年度の活動実績が発表された。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。活動実績として、今年度の活動実績が発表された。

令和6年3月30日(土) 中日新聞 掲載

ツツジの苗木どうぞ

伊東市環境公社は、今年度(令和6年)のツツジの苗木を配布した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。ツツジの苗木を配布した。これは、環境美化の推進や、地域での活動の充実などが目的である。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。ツツジの苗木を配布した。

令和6年5月3日(金) 静岡新聞 掲載

生徒学生3人ラトビアへ

ボーイスカウト日本連盟は、今年度(令和6年)の国際交流委員会の活動を発表した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。国際交流委員会の活動として、今年度の活動実績が発表された。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。国際交流委員会の活動として、今年度の活動実績が発表された。

令和6年5月6日(月) 静岡新聞 掲載

指導者増へ活動体験

ボーイスカウト日本連盟は、今年度(令和6年)の指導者増へ活動体験を発表した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。指導者増へ活動体験として、今年度の活動実績が発表された。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。指導者増へ活動体験として、今年度の活動実績が発表された。

令和6年5月5日(日) 伊豆日日新聞 掲載

広葉樹 富士山麓で大きく育て

伊東市環境公社は、今年度(令和6年)の広葉樹の苗木を配布した。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限されたが、各地方協議会では、オンラインでの活動や、地域での活動など、様々な工夫を凝らして活動を行った。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。広葉樹の苗木を配布した。これは、環境美化の推進や、地域での活動の充実などが目的である。また、今年度は、国際交流委員会の活動も盛んに行われ、海外との交流が深められた。広葉樹の苗木を配布した。

令和6年5月7日(火) 静岡新聞 掲載

おしらせコーナー

3TCベンチャー大会

- 日 時:令和6年
8月2日(金)~7日(水)
- 場 所:高山市位山交流広場

第13回
日本アグーナリー

- 日 時:令和6年8月8日(木)~12日(月・祝)
- 場 所:福島・国立磐梯青少年交流の家
- テーマ:We Can! ふかめよう友情! ひろげよう絆!

第1回
スカウトフォーラム

- 日 時:令和6年9月15日(日)
- 場 所:静岡県青少年会館

JOTA/JOTI

- 日 時:令和6年
10月18日(金)~20日(日)
- 場 所:静岡県青少年会館

《定型訓練》

コミッショナー
ベーシックトレーニング静岡第2期

- 日 時
令和6年9月21日(土)~23日(日・祝)
- 場 所
三島市立箱根の里少年自然の家
- 申し込み
8月24日(土)まで 県連事務局 必着

コミッショナー任務別研修地区
コミッショナー課程静岡第3期

- 日 時
令和6年10月19日(土)~20日(日)
- 場 所
静岡県青少年会館
- 申し込み
9月21日(土)まで 県連事務局 必着

ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局(Tel.054-255-6185)まで
ホームページもご覧ください。http://bs-shizuoka.com

編集
日記

この夏も「3TCベンチャー大会」「日本アグーナリー」ほか、各地区・団・隊による野営訓練などアクティブな活動が行なわれるものと思います。先般の静岡県連盟定時総会で3つの取り組みについて表明されました(2頁参照)。「たちばな」もこれまで以上に充実した誌面を目指します。皆様からのご意見・情報及び取材依頼を県連事務局までお寄せ下さいますようお願い致します。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2024年7月

発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町1-70-1
県青少年会館内
TEL.054-255-6185
FAX.054-255-6186
http://bs-shizuoka.com

編集責任者 総務・広報委員長 南條 順子

印 刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市中央区上新屋町30-1 TEL.053-467-4678

発行部数 2,760部